

Bonjour

ボンジュール!!

2015年
4月23日号
Vol.218



祝! 日経平均2万円。2015年「Sell in May」は?

● 日経平均、ついに2万円台を回復

4月22日、日経平均はついに2000年4月14日以来、約15年ぶりに終値で2万円台を回復しました。まだ上昇余地あり、と強気なマーケット参加者も多く、この勢いはしばらく続きそうです。しかし気になる点があるといえば、5月のあの相場の格言

● Sell in May(5月に売り抜ける!)

「Sell in May」という米国の相場格言があります。これは、株式市場が1月から5月までは上昇し、6月からは下げる傾向にあることから、5月は株式を売って一旦相場から離れたほうがいいという意味です。毎年、この時期に話題となる格言です。

5月に下落しやすい理由の一つには、4月から5月にかけて本格化する3月期決算の企業の決算発表の動向によって相場が変動しやすくなることが挙げられます。

格言はさらに、「Don't come back until St.Leger's day(9月の第2土曜日に開かれるセント・レジャーズ・デイという競馬レースまでは(市場に)戻ってくるな)」と続きます。

現時点では「日経平均2万円は通過点に過ぎず、現在よりもさらに上昇する」という期待感も強いところですが、さて、今年はこの格言の通りの相場となるのでしょうか?

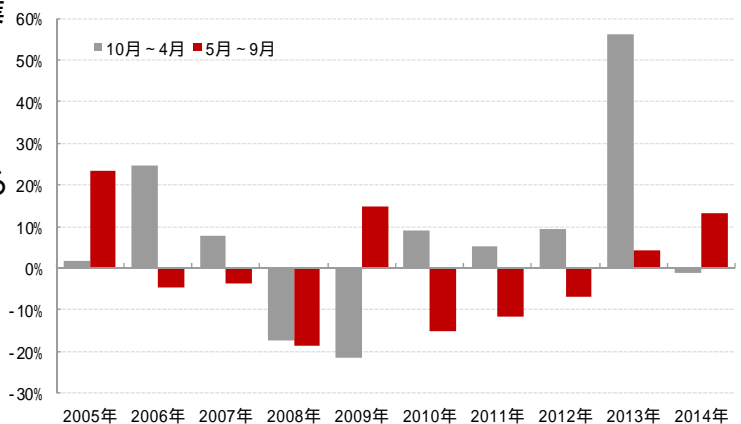
● どうなる? 今年の5月

そこで、売られやすいといわれる5月~9月とその他期間である10月~4月の騰落率を比較検証しましょう。過去10年では5月~9月の期間は格言通りマイナスとなった年も多くありました。

ただし、小泉郵政改革などで好調だった2005年や日銀が大胆な金融緩和を行ってきた2013年、2014年はプラス。強気相場のときは、いい意味で格言を裏切るのかもしれない。

今年の日本株式はこの格言を裏切って一段高となるのでしょうか。投資タイミングの分散なども視野に入れ、しっかり戦略立てて臨みたいところです。

各年の日経平均株価5月~9月、10月~4月の騰落率
(月次、期間:2005年4月29日~2014年10月31日)



出所:ブルームバーグのデータを使用しビクテ投信投資顧問作成

当資料はビクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものではありません。運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。